

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)		第4期第4回相模原市緑区区民会議				
事務局 (担当課)		緑区役所区政策課 電話042-775-8802(直通)				
開催日時		平成29年7月7日(金) 14時00分～16時00分				
開催場所		緑区合同庁舎 集団指導室				
出席者	委員	21人(別紙のとおり)				
	その他	0人				
	事務局	12人(緑区長、緑区副区長、緑区役所区政策課長、他9人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	2人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		1 開会 2 議題 (1) 緑区ビジョンの評価について (2) 情報発信の取り組みについて 3 その他 4 閉会				

## 審 議 経 過

主な内容は次のとおり。( は委員の発言、 は事務局の発言)

### 1 開会

松井会長の司会進行により議事が進められた。

会議の成立要件を満たしている旨の報告、会議の公開、配布資料の確認を行った。また、傍聴希望者の報告を行い、傍聴を許可した。

併せて今回から委嘱した委員の自己紹介を行った。

### 2 議題

#### (1) 緑区区ビジョンの評価について

第4期の区民会議で実施してきた緑区区ビジョンの評価の経緯について、改めて事務局から説明を行った。

これまでの議論を踏まえると、点から面へ広げる観光情報や水源地の魅力発信の強化、地域の担い手作りのための効果的な情報発信が課題となっている。

今後は次期区ビジョンを視野に入れ、情報発信をキーワードとして、来訪者の増加による地域活性化、地域内の情報を発信・共有することによる地域活動の活性化や地域コミュニティの維持強化といった課題解決に向けた議論をして頂きたい。

今期の区民会議では最終的に意見集約を行い、次期区ビジョンの策定に向けた第4期緑区区民会議の報告書を作成し、第5期区民会議へ引き継ぎ、次期区ビジョンの検討に繋げていきたい。

今後の検討にあたり、各委員から出された意見やアイデアについては、実現に向けて長期・中期・短期という時間軸を示した上で分類していただきたい。

A B C評価だと各地域の現在までの詳細な進捗状況が分かりにくいので、点数化すると理解しやすいと思う。

次期総合計画の検討も今後進められていくと思うが、整合性を持ちながら議論を行う必要がある。

#### (2) 情報発信の取り組みについて

各地域から現在の情報発信の手法についての取り組み状況の報告のほか、効果的な情報発信媒体を使用した情報発信についての意見が交わされた。

また、平成29年3月に緑区の特設サイトを開設し、一般社団法人藤野観光協会等が実施している日帰り移住体験や空き家に関する相談事業と連携した情報発

信を実施している旨の説明を行った。

スピード感を持って事業を行なうことが重要である。実現可能なものから地域では取り組んでいった方がよい。

近隣の大学と協働で自治会の活動や広報活動を行なうことも有効である。大学生の視点で地域の魅力を発掘したCMを制作し、バスの車内に設置されているテレビで放映するなど、アイデアを活かして情報を発信していくことが重要である。

地域のイベントについてはポスターやホームページを使用してPRすることが多く、最近では県外からの来訪者も増えている。

広報紙に掲載したイベント情報について、ホームページへのリンクを貼るなどの連携を行なって欲しい。

橋本駅などの公共の場にパンフレットラックを設置して情報発信して欲しい。基本的に、出版社が発行する雑誌等は直接自治体に出向いて情報収集することが多い。雑誌にイベント等の告知記事を掲載する場合は2ヶ月以上先の情報を掲載する。情報発信媒体によって発信するタイミングが異なるので、タイミングを意識することが必要である。

SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の場合は、直前の情報発信でも十分に効果がある。SNSから情報を得る人が20～40代の人に多いと伺っている。また、とりわけ10代においては、現在は雑誌すらほとんど読まず、情報収集はSNSが主になっており、SNSの存在は大きなものになっている。

ホームページとSNSは使い分けを行うとより効果があると考えられる。例えば簡易告知はSNS、詳細な情報はホームページといった形で使い分けるとより効果が上がると考えられる。

無人航空機のドローンを用いて地域を空撮し、PR動画を制作して公共施設等で公開している地域もあると伺っている。

緑区特設サイトのように情報を集約することで、サイトから団体の情報を得て、参加する機会を得られるようになるなど地域活動を後押しできるとよい。移住促進施策については、更に空き家対策とも絡めて考えていったほうがよい。

情報発信について更に話し合うため、防犯などのジャンル分けを行なうとより議論が深まるのではないか。

<会長・副会長からの意見>

他市の事例も参考にしながら、緑区全体の魅力を更にブラッシュアップし、効果的に発信できればよいと思う。また、例えば祭りなど地域に根付いたものを通して地域を離れてしまった人に魅力を再確認してもらうような情報発信も一つの手ではないか。

情報発信について、各地区で既に取り組んでいることが分かったので、事務局から各地区へ簡単な調査票を配布し、どのような手法で情報発信を行なっているか基礎情報をまとめて報告したいと考えている。

各地区の関係団体についても、現状行なっている情報発信についてどういった認識・評価なのか可能な範囲で意見を確認していただきたい。

緑区全体で情報発信する際に必要なものは何かを聞いておいて頂きたい。

次回までに特設サイトを見て頂き、更なる改善点について、ご意見を伺いたい。

### 3 その他

事務局から首都圏広域地方計画や中山間地域対策プロジェクト等の緑区を取り巻く状況についての説明を行った。

次回会議は、平成29年10月頃の開催を予定。詳細は事務局でスケジュール調整した後に通知することとなった。

### 4 閉会

## 相模原市緑区区民会議委員出欠席名簿

(順不同・敬称略)

区 分	氏 名	所 属 団 体 等	出欠席
まちづくり会議	関 欣人	橋本地区まちづくり会議	欠席
	柳 信幸	橋本地区まちづくり会議	出席
	中山 光明	大沢地区まちづくり会議	出席
	吉村 幸弘	大沢地区まちづくり会議	出席
	山下 利麿	城山地区まちづくり会議	出席
	宗田 眞理子	城山地区まちづくり会議	欠席
	落合 勝司	津久井地区まちづくり会議	出席
	関戸 佐助	津久井地区まちづくり会議	出席
	森久保 眞二	相模湖地区まちづくり会議	出席
	長谷川 兌	相模湖地区まちづくり会議	出席
	森川 哲郎	藤野地区まちづくり会議	出席
	小山 秀文	藤野地区まちづくり会議	出席
関係団体	草野 寛	相模原市自治会連合会	出席
	今井 俊昭	社会福祉法人 相模原市社会福祉協議会	出席
	岡崎 敏	相模原市立小中学校PTA連絡協議会	出席
	上原 泰久	相模原商工会議所	欠席
	小川 喜平	津久井地域商工会連絡協議会	出席
	永井 宏一	一般社団法人 相模原市観光協会	出席
	本田 泰章	公益社団法人 津久井青年会議所	出席
学識経験者	松井 望	首都大学東京	出席
区民	栗島 建治	公募委員	出席
	白阪 洋一	公募委員	出席
	松崎 博子	公募委員	出席
民間事業者	山本 篤史	株式会社KADOKAWA	出席

は会長、 は副会長